

## 障がい者に対するナシの栽培管理の指導支援

対象者 職業指導員 S 氏

### 【普及活動のねらい】

管内の障がい者の就労を支援している事業所 W では、イチゴ、露地野菜、ナシなどの農作物を栽培し、職業指導員 S 氏が障がいを持っておられる方(以下、利用者)に対して栽培指導を行っています。しかし、S 氏はナシ栽培の経験がないため、栽培指導の手法がないことが課題となっていました。

そこで、職業指導員の技術習得を通して障がい者の農に関する就業機会を拡大することを目的とし、職業指導員が利用者へ栽培指導を行う際に活用できる指導資料の作成支援を行いました。

### 【普及活動の内容】

昨年度、S 氏に対して栽培技術の習得支援を行い、管内果樹農家のほ場見学や巡回指導を通して、必要な栽培技術を習得されました。今年度は、ナシの本格的な作業が始まる前の 4 月に S 氏と打ち合わせを行い、昨年度の経験を踏まえ利用者に入ってもらいたいと考える作業について、利用者がストレスなく作業ができるよう目で見ても作業内容が理解できる「作業シート」の作成について支援しました。特に、主要な作業ごとに写真を撮影し、作業シートのパーツとなる写真を収集しました。

### 【普及活動の成果】

指導資料の作成支援の結果、「摘蕾」・「受粉」・「摘果」・「摘心」・「誘引」・「収穫」の 6 つの作業について、作業工程や使用する道具等の写真を中心とした「作業シート」が作成できました。次年度は、今年度作成した資料を S 氏が実際に栽培指導に使用される中で、出てきた課題等のフィードバックを行います。



指導資料の一例

### ◎対象者の意見

写真など目で見ても分かるものだと実際に栽培指導する時に使いやすい。摘蕾や受粉など一時に人手が必要な作業で効果的に入ってもらえそうである。(職業指導員 S 氏)